

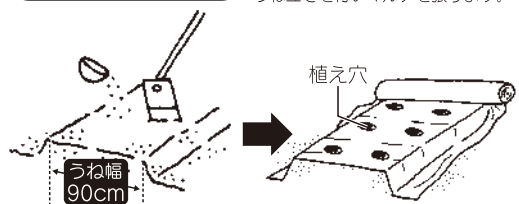
オクラ

1 畑の準備・種まきの準備

土作り 植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。

土作り
・JAファーム粒状苦土石灰:
1㎡あたり100g
・JAファーム牛ふん入りパーク堆肥:
1㎡あたり2~3kg

元肥・うね立て・マルチ張り 植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行いマルチを張ります。



元肥 ・JAファームやさいの元肥: 1㎡あたり150g(ひと握り約40~50g)

種まきの準備

オクラの種は硬く発芽しにくいので、一晩水に浸けて吸水させてからまきます。

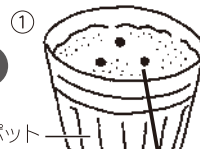


2 種まき

オクラは高温を好む作物なので、5月中旬頃が種まきの適期となります。

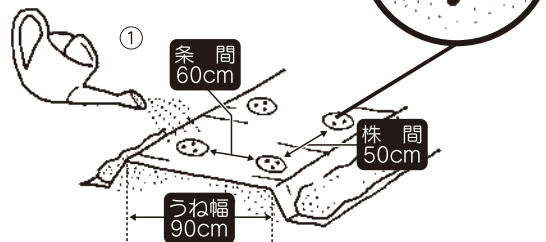
ポット育苗をする場合

ポットに種まき培土を入れ、3粒ずつ種をまきます。



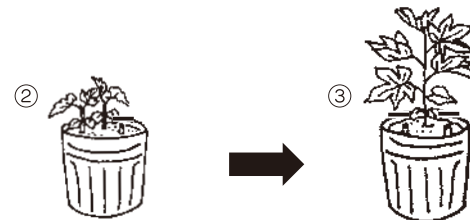
直播(じかまき)をする場合

吸水させた種子を3粒ずつまき、たっぷりがん水をします。



3 間引き・植え付け

間引き 発芽したら本葉2枚くらいから間引きをし、本葉4~5枚で1本立ちにして育てます。(直播も同様に管理)



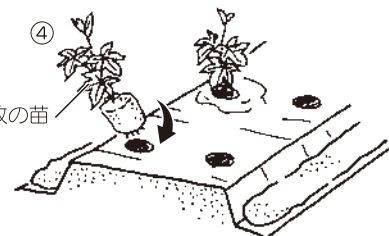
本葉2枚で、1本間引く。

本葉4~5枚で、1本立ちにする。

植え付け

本葉4~5枚の時に、植え付けを行います。

本葉4~5枚の苗



4 追肥・土寄せ・敷わら

追肥・土寄せ



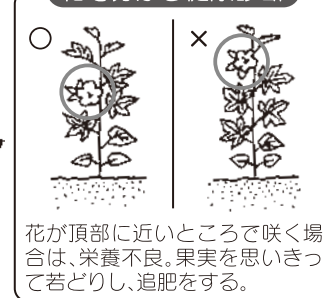
●第1回目追肥
(植え付けから20日後)

「JAファームやさいの追肥S」を一株あたりひと握り、(約40~50g)うねの肩から通路にかけてまき、併せて土寄せも行います。

●第2回目以降追肥
(1回目の追肥より、15~20日おき毎に1回位のペース) 1回目と同様に行う。

! 肥料を多く必要とするので、肥料切れに注意。

花で分かる健康診断



花が頂部に近いところで咲く場合は、栄養不良。果実を思いきって若どりし、追肥をする。

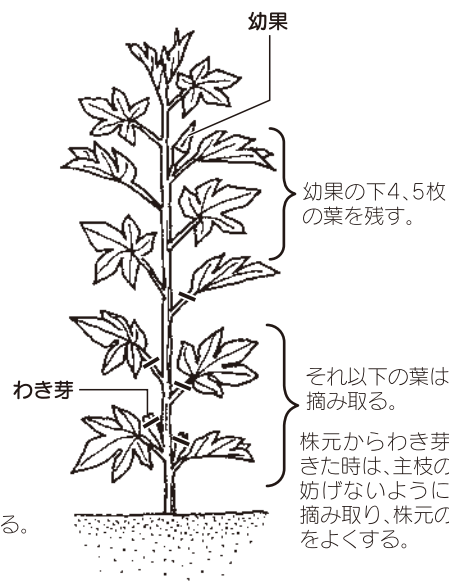
敷わら

うねの乾燥防止のため、わらや枯れ草などを全面に敷きます。



時々かん水する。

5 わき芽かき・葉摘み



幼果

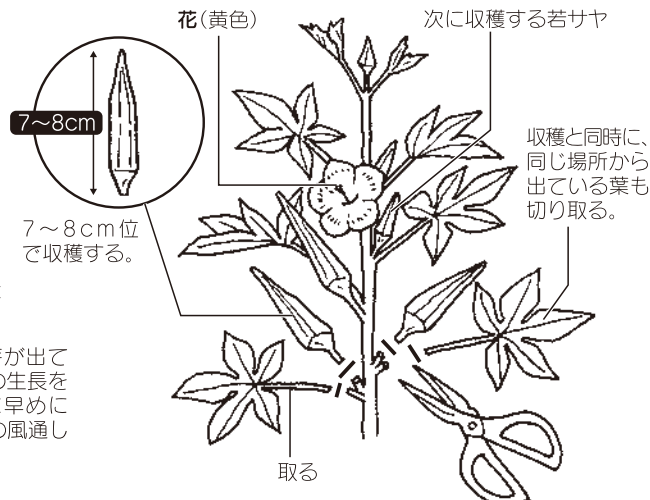
幼果の下4、5枚の葉を残す。

それ以下の葉は摘み取る。

株元からわき芽が出てきた時は、主枝の生長を妨げないように早めに摘み取り、株元の風通しをよくする。

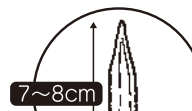
6 収穫

開花後、1週間位で収穫ができます。1日収穫が遅れると実が硬くなるので注意してください。



花(黄色)

次に収穫する若サヤ



7~8cm位で収穫する。

収穫と同時に、同じ場所から出ている葉も切り取る。

取る

科名	アオイ科
原産地	アフリカ北東部
連作障害	あり(2~3年)